

製造現場の改善活動

姫路機械金属工業会では、生産管理・生産技術に携わる方を対象に、1974年より現場の改善研修を実施し、ものづくり人材の育成活動を行っています。本号では、カリキュラムの内容と主催者からのメッセージをご紹介します。

(2020年1月17日(金) 工場改善研修講座修了式より)



姫路機械金属工業会 会長 阿部 英之さん
(アユミ工業株式会社 代表取締役社長)

認定職業訓練実施団体として県知事表彰を受賞

製造現場の改善活動意識を高め、その手法を普及することによって、企業の活性化、合理化を促進するため、「工場改善研修講座」を積極的に推進しています。1974年(昭和49年)に開講して以来、これまで1,000名を超える修了生を送り出している伝統ある講座で、修了生の皆さんは、それぞれの企業のリーダーとして、当地のものづくり産業を牽引されています。この間、地域における工場合理化意識の高揚や改善技法の普及に、少なからずお役に立つことができたのではないかと自負しております。ものづくり人材の育成に関するこれまでの取り組みが広く認められ、2019年12月13日、認定職業訓練実施優良団体として兵庫県知事表彰を受賞しました。訓練の実施内容が優良で他の模範になると認められる団体として評価されたものです。



会社の一部分の活動という「点」にとどまってしまうこともあり、これをできるだけ他部門を巻き込み、連携しながら「面」に広げ、会社全体の生産性向上に繋げることを意識しなければなりません。播磨地域には洗練された技術をもったものづくり企業が集まっています。その中で生産性を向上させるためには現場の一人ひとりのレベルアップが必要です。

本コースでは、各分野の専門家を招き、気付きの学習、講義・演習を経て、実際に研修生の職場を巡回し、講師と自他研修生で現場改善実習を行っています。



巡回指導風景

2017年度(第44期)修了生である佐藤精機(株)の社員さんは、当講座で取り組んだ「試作品製造工程における段取り作業の改善」を社内で進めたことで、職域における科学技術の改良に寄与したことが認められ、「平成31年度文部科学大臣表彰創意工夫功労者賞」を受賞されるなど、様々な困難を乗り越えながらステップアップされています。本講座を通じて、改善に関する知識やスキルのみならず、達成感や自信、社内での連帯感、研修生同士の繋がりなど、多くの財産を得たのではないのでしょうか。この研修で得た成果を日々の改善活動や業務に活かすとともに、生産現場の中核人材として自社の発展、当地域のものづくりの発展に貢献されることを期待しています。

コースの流れと研修生が得た成果

現在、中小企業が抱える大きな課題は人材不足と生産性向上です。その人材不足に有効な生産性向上は、自社の課題に応じてどのような対策を行うか、これの繰り返しにつきます。近年、IoTやロボットなどの先端的なツールを活用される企業が増え、現場に求められることも多くなっている状況です。多くの企業で改善活動が行われていますが、

